



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年2月3日

上場会社名 株式会社ダイショー 上場取引所 東
 コード番号 2816 URL <https://www.daisho.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 俊一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 三浦 和信 (TEL) 092-611-9340
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の業績 (2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	20,849	4.0	1,305	1.6	1,328	2.6	895	0.5
2024年3月期第3四半期	20,051	8.2	1,285	28.7	1,295	28.5	891	32.3
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年3月期第3四半期	92.82		—					
2024年3月期第3四半期	92.38		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	21,235	10,236	48.2
2024年3月期	16,393	9,538	58.2

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 10,236百万円 2024年3月期 9,538百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
2025年3月期	—	9.00	—		
2025年3月期(予想)				9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の業績予想 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,200	3.3	740	△16.9	730	△19.0	460	△23.2	47.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年3月期3Q	9,868,800株	2024年3月期	9,868,800株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2025年3月期3Q	216,088株	2024年3月期	216,088株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2025年3月期3Q	9,652,712株	2024年3月期3Q	9,652,712株
------------	------------	------------	------------

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用、所得環境が改善するなか景気は緩やかに回復してきたものの、国際的な天候不順や長期化する地政学リスク、為替変動による原材料価格等のコスト上昇は国内経済に与える影響として懸念され、依然として先行き不透明な状況が続きました。

食品業界におきましては、上昇しつづける原材料価格や労働コスト、物流費へ対応するために、多様化する調理スタイルに合わせた製品や高付加価値製品の開発など、利益獲得への動きがより進みました。

このような状況のもと、当社は、2025年3月期までの中期経営計画の最終年度にあたり、次世代を切り開くダイショーらしさを確立し、企業価値の向上をめざして、成長を持続させてまいります。特に今期は、「ビジョンの追求」「ベースアップ実施」「体制変更」「予算達成」の4項目を重点課題とし、当社固有の存在価値を磨き上げ、さらなる飛躍を目指してまいります。

製品群別の概況は、以下のとおりであります。

液体調味料群の小売用製品においては、本格的なお店のメニューが簡単に調理できる製品や有名中華シェフとのコラボ製品などの新製品が堅調に推移するなか、当社一番人気の焼肉のたれ『秘伝 焼肉のたれ』に粒感の大きいにんにくを配合するなど“にんにく感”に特化した『秘伝 焼肉のたれ にんにく5倍』が売上を牽引しました。鍋スープ類では、平均気温の高い状況が続くなか、「名店監修」シリーズとしてあらたに投入した『名店監修鍋スープ らぁ麺飯田商店鶏だし醤油味』や人気ドラマ「孤独のグルメ」の劇場版とのコラボ製品が好調に推移いたしました。業務用製品では、手軽に炭火焼の風味を再現でき彩り良いねぎを加えた『炭火焼風 ねぎ塩ソース』を中心に多様なフレーバーで展開しているオイルソース類や惣菜向けのソースなどの売上が増加しました。この結果、売上高は156億83百万円（前年同期比103.9%）となりました。

粉体調味料群においては、小売用製品の『味・塩こしょう』シリーズが堅調に推移しました。業務用製品においては、惣菜向けのスパイス類が好調に推移しました。この結果、売上高は32億24百万円（前年同期比104.0%）となりました。

その他調味料群においては、小売用製品では「スープはるさめ」の定番製品が売上を伸ばし、業務用製品も好調に推移しました。この結果、売上高は19億40百万円（前年同期比104.4%）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は、208億49百万円（前年同期比104.0%）となりました。利益につきましては、営業利益は13億5百万円（前年同期比101.6%）、経常利益は13億28百万円（前年同期比102.6%）、四半期純利益は8億95百万円（前年同期比100.5%）となりました。

(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ48億42百万円増加し、212億35百万円となりました。固定資産が総資産の51.0%を占め、流動資産は総資産の49.0%を占めております。資産の変動は、主に「建設仮勘定」が29億86百万円、「受取手形及び売掛金」が28億18百万円それぞれ増加し、「現金及び預金」が9億20百万円減少したことによるものです。

負債は、前事業年度末に比べ41億43百万円増加し、109億99百万円となりました。流動負債が負債合計の76.5%を占め、固定負債は負債合計の23.5%を占めております。負債の変動は、主に「短期借入金」が24億円、「長期借入金」が10億40百万円、「買掛金」が5億98百万円、「未払金」が4億54百万円それぞれ増加し、「賞与引当金」が2億32百万円、「長期未払金」が2億8百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産は、前事業年度末に比べ6億98百万円増加し、102億36百万円となりました。純資産の変動は、主に剰余金の配当1億73百万円の支出と四半期純利益8億95百万円の計上により「利益剰余金」が7億22百万円増加したことによるものです。自己資本比率は48.2%となり、前事業年度末に比べ10.0ポイント下降しました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

「業績予想の修正に関するお知らせ」（2024年10月28日に公表）において発表いたしました通期の業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産または流動負債として繰り延べる方法を採用しております。

②税金費用の計算

当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,526	1,605
受取手形及び売掛金	3,970	6,789
商品及び製品	1,233	1,357
原材料	462	533
その他	91	134
貸倒引当金	△6	△10
流動資産合計	8,277	10,410
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,317	2,215
土地	2,801	2,801
リース資産(純額)	693	582
建設仮勘定	22	3,008
その他(純額)	930	936
有形固定資産合計	6,765	9,545
無形固定資産	53	31
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,299	1,249
貸倒引当金	△2	△0
投資その他の資産合計	1,296	1,248
固定資産合計	8,115	10,825
資産合計	16,393	21,235

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,235	2,833
短期借入金	—	2,400
1年内返済予定の長期借入金	—	160
未払金	1,481	1,935
未払法人税等	277	252
賞与引当金	461	228
その他	553	601
流動負債合計	5,008	8,410
固定負債		
長期借入金	—	1,040
退職給付引当金	548	559
長期未払金	703	495
その他	595	493
固定負債合計	1,846	2,588
負債合計	6,855	10,999
純資産の部		
株主資本		
資本金	870	870
資本剰余金	379	379
利益剰余金	8,304	9,027
自己株式	△114	△114
株主資本合計	9,440	10,163
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	97	73
評価・換算差額等合計	97	73
純資産合計	9,538	10,236
負債純資産合計	16,393	21,235

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	20,051	20,849
売上原価	12,081	12,792
売上総利益	7,969	8,056
販売費及び一般管理費	6,684	6,751
営業利益	1,285	1,305
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	3	4
不動産賃貸料	5	5
保険解約返戻金	—	21
その他	14	11
営業外収益合計	23	42
営業外費用		
支払利息	12	19
その他	1	—
営業外費用合計	13	19
経常利益	1,295	1,328
特別損失		
固定資産除売却損	3	1
減損損失	—	29
店舗閉鎖損失	—	35
特別損失合計	3	65
税引前四半期純利益	1,292	1,262
法人税、住民税及び事業税	400	366
法人税等合計	400	366
四半期純利益	891	895

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、食品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	506百万円	499百万円